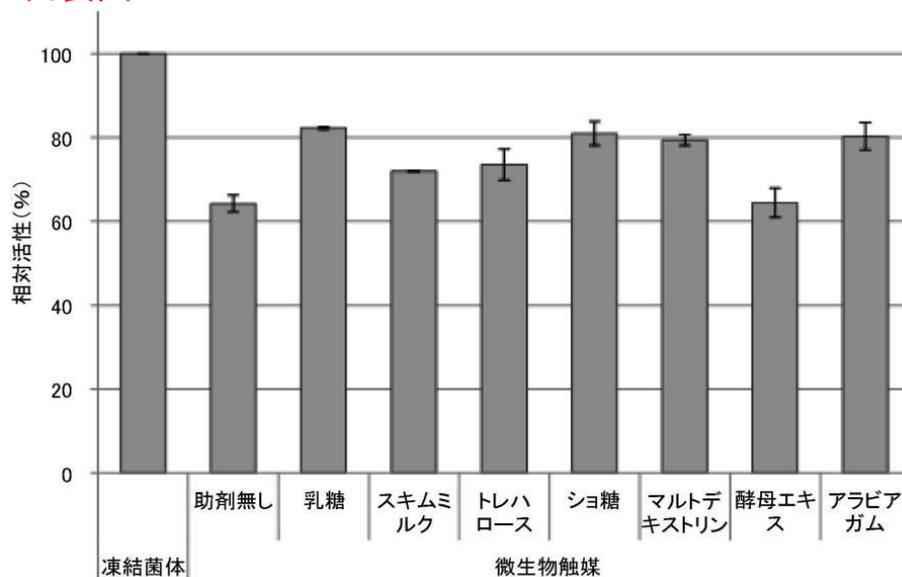


ケミカル

使用が困難であった微生物を利用した微生物触媒

| | | | |
|---------|--------------------|------|--------------------|
| 発明の名称 | 微生物触媒及びその使用 | | |
| 出願人/権利人 | オーガニック・テックファーム株式会社 | 発明者 | 原 富次郎、高塚 由美子、杉本 昌隆 |
| 出願日 | 平成27年2月4日 | 出願番号 | 2015-020400 |
| 公開番号 | 2016-44173 | 特許番号 | 6619557 |
| 法的状態 | 登録中 | | |

代表図



異なる賦形剤を用いて作製した
微生物触媒の酵素活性の評価結果 (n=3)

発明の概要

散布後に生態系へ与える影響が少なく微生物農薬に使用できる新規な微生物触媒

特徴

本発明の微生物触媒は、生物多様性の保全から使用が困難であった微生物を利用できる。例えば、産業上有用な微生物にもかかわらず、核酸を転移または複製する能力を有する細胞や、遺伝子組換え生物で使用できなかった微生物が該当する。基質特異性の異なる多糖分解酵素類などを、多種複合することで、不溶性であったり、多様な糖鎖で構成されたりする難分解性の糸状菌細胞膜へ優位な破壊作用を示す複合微生物触媒として製造される微生物農薬である。これらにより、生物多様性の保全に影響を及ぼすと懸念される遺伝子組換え生物を含む細胞生物の農薬が利用できる。

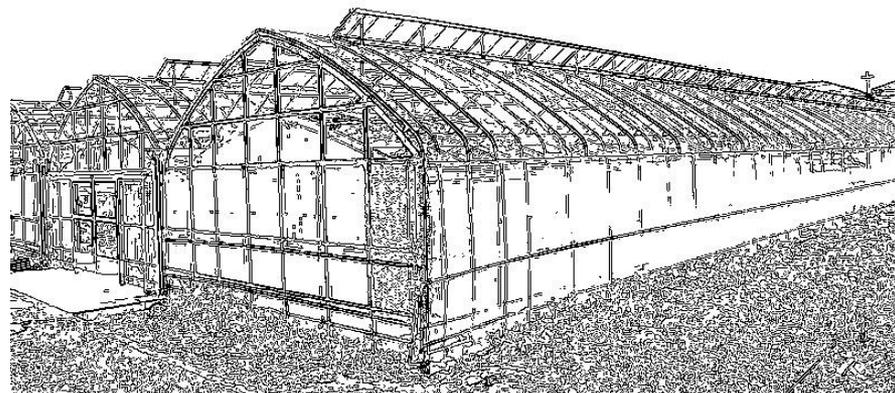
関連分野

農林水産、飲食

応用の可能性



畑



ハウス栽培



植物工場



廃校・廃施設利用栽培

など

応用の可能性

- ・畑
- ・ハウス栽培
- ・植物工場
- ・廃校・廃施設利用栽培
など

本技術の活用が見込める企業の一例

- ・楽天農業株式会社
- ・株式会社アグリメディア
- ・株式会社バイテックホールディングス
- ・大阪堺植物工場株式会社
- ・昭和電工株式会社
- ・鹿島建設株式会社
- ・オリックス農業株式会社
- ・株式会社スプレッド
- ・富士電機株式会社
- ・伊東電機株式会社
- ・農業協同組合
- ・地方自治体
など

オーガニック・テックファーム株式会社の本発明に関する最新動向

- ・同社のホームページは見受けられない。